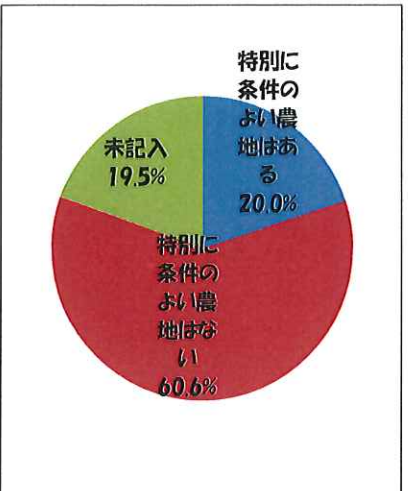
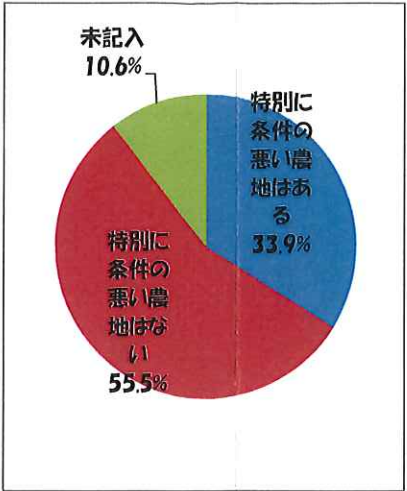


平成 2 6 年度に耕作者を対象に実施した換地アンケートの集計結果より抜粋

設問 16 あなたは工事後において、従前の土地の所有者に配分するほうがよいと思われる特別に条件の悪い土地、特別に条件のよい土地があるとおもいますか。

		旭東地区	市町村		改良区		JA	
			旭川市	東神楽町	旭川	東和	東神楽	あさひかわ
1	特別に条件の悪い農地はある	141	72	71	96	64	129	12
2	特別に条件の悪い農地はない	231	98	133	133	122	219	12
3	未記入	44	29	17	30	15	42	2
4	特別に条件のよい農地はある	83	32	51	51	50	79	4
5	特別に条件のよい農地はない	252	113	140	150	126	237	15
6	未記入	81	54	30	58	25	74	7



設問 17 設問 16 で「1. 悪い農地はある」とお答えになった方にお聞きます。どのような農地ですか。
・複数回答可 416 人中 141 人が(1)に解答

特別に条件の悪い農地

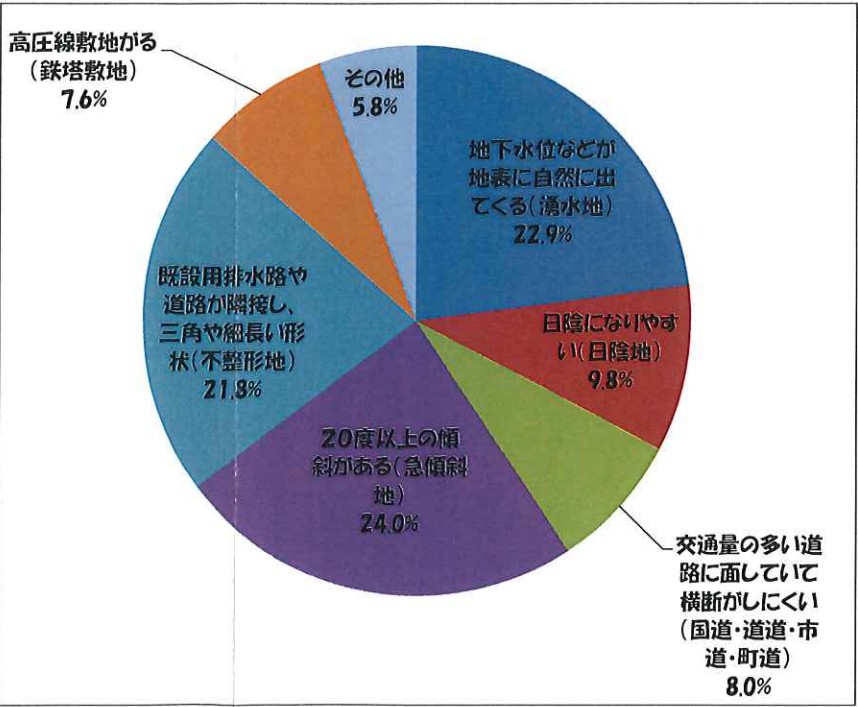
		旭東地区	市町村		改良区		JA	
			旭川市	東神楽町	旭川	東和	東神楽	あさひかわ
1	地下水位などが地表に自然に出てくる(湧水地)	63	33	31	39	29	60	3
2	日陰になりやすい(日陰地)	27	8	19	13	19	26	1
3	交通量の多い道路に面していて横断がしにくい(国道・道道・市道・町道)	22	8	14	14	13	20	2
4	20度以上の傾斜がある(急傾斜地)	66	31	35	46	31	58	8
5	既設用排水路や道路が隣接し、三角や細長い形状(不整形地)	60	27	34	38	32	56	4
6	高圧線敷地がかる(鉄塔敷地)	21	0	21	4	21	21	0
7	その他	16	8	8	9	8	13	3

特別に条件のよい農地

土質・排水・用水
田植え機がめからなくて、水はけが良い
道路に面した土地
客土事業実施
堤防で水はけが良い
土質が良い。水利が良い。
用排水が便利
客土してある
水はけの良い水田
作土が多い
乾燥地
区画がそろっている
水はけがよい
暗渠排水が良好

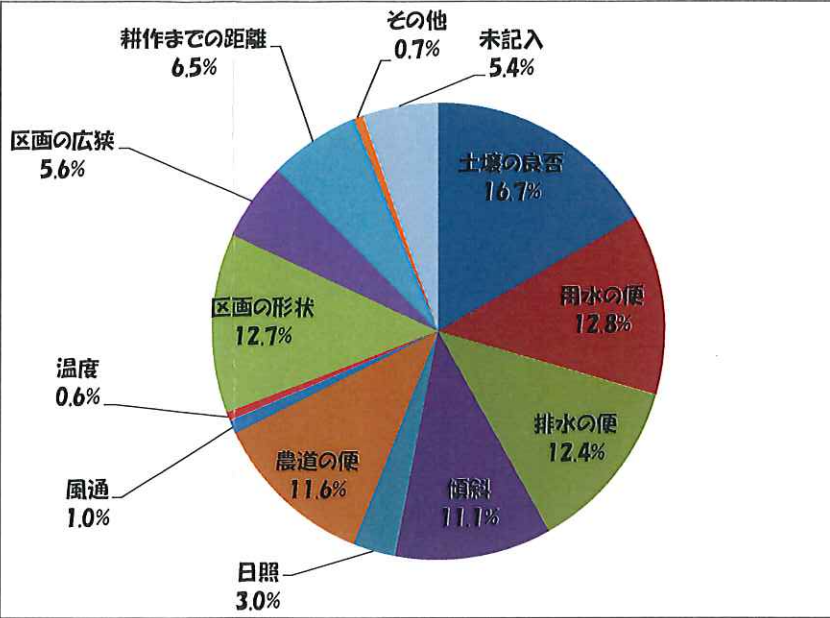
表面の石レキを除去すれば、低タンパク米が取れやすい。
土が深い、石が無い
水はけが良く、作土が深い
高低差が少なく火肥よくな土地
作土に砂利が無い・作土が深い
道路面している
土が深い
高低差の無い土地
平坦地の土壌の良好・町道に近い・排水良好
3反田より広い、約1枚 55a
地続きで5haあり、石が比較的少ない。あと、農道が広い。
表土が深い・日当たりが良い・広くて平らで畦が低い
表土の多い土地
砂利取りした土地

平坦で土壌条件が良い
地力がある。水はけがよい。少ない肥料で収量がある。日陰にならない。用排水がしっかりしている。
石が無く・表土が深い
砂地・火山灰地は耕起碎土が楽
1ha以上のあり、長方形の田んぼが数多くある団地がある
土が深い



設問 30 換地予定地と標準地との比較については、農家の皆さんの意見を参考に土地の評価項目を設定し、それにより行うこととしています。旭東地区では、どのような項目を取り上げるとよいと思いますか。
・複数回答可

		旭東地区	市町村		改良区		JA	
			旭川市	東神楽町	旭川	東和	東神楽	あさひかわ
1	土壌の良否	222	108	115	145	104	206	16
2	用水の便	171	95	77	118	74	157	14
3	排水の便	165	86	80	113	76	155	10
4	傾斜	148	66	82	94	73	137	11
5	日照	40	15	25	20	23	37	3
6	農道の便	154	50	105	76	97	144	10
7	風通	13	3	10	6	9	12	1
8	温度	8	2	6	2	6	8	0
9	区画の形状	169	53	117	88	106	163	6
10	区画の広狭	74	20	54	33	50	73	1
11	耕作までの距離	86	20	66	33	61	83	3
12	その他	9	6	3	7	3	9	0
13	未記入	72	44	30	50	27	68	4



設問 31 換地の評価額については、どのように決めるとよいと思いますか。

		旭東地区	市町村		改良区		JA	
			旭川市	東神楽町	旭川	東和	東神楽	あさひかわ
1	換地は、従前の土地を工事し、改善した用地であるので、従前の土地の価格に工事費(費用負担分)を加えたものを換地の価格とする方法	114	38	77	60	68	111	3
2	土地改良施設が充実した分だけ、換地の価格が増加しているものとし、従前の土地の価格を換地交付率で除した価格を換地の評価額とする方法	38	22	17	26	15	30	8
3	増加率または増加額を算定し、それを従前の土地に乗ずるまたは加算する方法	31	12	19	19	19	30	1
4	工事を実施した結果、土地の状態は全て同様になることから、換地の価格は時価一律とする方法、なお、精算は面積差により行う	91	67	24	75	20	83	8
5	4の方法によるが、ブロック別に時価の差をつける方法	70	25	45	38	42	68	2
6	未記入	72	35	39	41	37	68	4

旭川市においては回答者199名中114名(57.3%)が条件差差積清算方式を選択している。